

2021年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年5月6日
東

上場会社名 株式会社モダリス 上場取引所
 コード番号 4883 URL <https://www.modalistx.com/jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 森田 晴彦
 問合せ先責任者(役職名) 執行役員CFO (氏名) 小林 直樹 (TEL) 03-6822-4584
 四半期報告書提出予定日 2021年5月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第1四半期の連結業績(2021年1月1日~2021年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第1四半期	0	△95.4	△252	—	△245	—	201	—
2020年12月期第1四半期	13	—	△116	—	△116	—	△118	—

(注) 包括利益 2021年12月期第1四半期 210百万円(—%) 2020年12月期第1四半期 △118百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第1四半期	7.07	6.66
2020年12月期第1四半期	△4.71	—

(注) 1. 当社では、四半期連結損益計算書において事業収益として記載しているものを売上高と読み替えて表示しております。

2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、2020年12月期第1四半期は潜在株式は存在するものの、当社株式は非上場であり、期中平均株価が把握できないため、また1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	百万円	百万円	百万円	%
2021年12月期第1四半期	6,533	6,430	6,430	6,430	98.4
2020年12月期	6,277	6,206	6,206	6,206	98.9

(参考) 自己資本 2021年12月期第1四半期 6,430百万円 2020年12月期 6,206百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年12月期	—	—	—	—	—
2021年12月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年12月期の連結業績予想(2021年1月1日~2021年12月31日)

2021年12月期の業績予想につきましては、現時点で合理的な業績予想の算定ができないことから、記載しておりません。なお、当該理由等は、添付資料P3「1. 当四半期に関する定性的情報(3) 連結業績予想など将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 -社(社名) 、除外 -社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年12月期1Q	28,575,000株	2020年12月期	28,515,600株
② 期末自己株式数	2021年12月期1Q	一株	2020年12月期	一株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年12月期1Q	28,546,560株	2020年12月期1Q	25,100,000株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料P3をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い経済活動及び社会生活が引き続き制限されている中で、先行きの不透明な状況が続いております。

このような状況下において、当社グループは、「Every Life Deserves Attention (すべての命に、光を)」を経営理念として掲げ、そのほとんどが希少疾患に属する遺伝子疾患に対して画期的な新薬を提供することを目標とし、2016年の設立から6期目に当たる当第1四半期連結累計期間におきましても、技術的基盤となるCRISPR-GNDM®プラットフォームの強みを生かし、「幅のある開発」と「バリューチェーンの補完」を目指し、パートナーに技術プラットフォームであるCRISPR-GNDM®技術を開放してパートナーの選定したターゲットに対してパートナーの資金で治療薬の開発を行う「協業モデルパイプライン」と自社でCRISPR-GNDM®技術を用いてターゲットの選定から行い、自己資金で治療薬の開発を行う「自社モデルパイプライン」の2種類を組み合わせたハイブリッド型ビジネスモデルにより遺伝子疾患治療薬の創出を実現すべく取り組みました。なお、当第1四半期連結累計期間の経営成績等において新型コロナウイルス感染症による影響は限定的と考えております。

当第1四半期連結累計期間においては、協業モデルパイプライン5本、自社モデルパイプライン3本を進めております。自社モデルパイプラインにおいては、MDL-101で20週までのサルの試験を完了し、データ分析の結果CRISPR-GNDM分子をこの期間に渡って発現させても免疫反応を含めて大きな安全性上の問題を起こさないことを確認しました。本結果をもとにパートナー候補との交渉を進めるとともに、早期の臨床試験入りに向けて必要な開発を引き続き行って参ります。さらに、タウオパチーをターゲットとしたMDL-104及び同じく中枢神経領域をターゲットにしたMDL-102も継続的に研究を進めております。また、協業モデルパイプラインであるMDL-204, 205, 206については、パートナー各社と引き続き共同研究を継続しております。なお、ライセンス済みのMDL-201などについてはパートナーの意向により臨床試験入りまでのタイムラインについての開示を行わない方針としております。

また、当社の大株主であった片山晃氏（以下、片山氏といいます。）の有価証券上場規程及び有価証券上場規程施行規則に基づく確約書に違反して制度ロックアップ期間中に当社株式を売却したことに関し、当該事項の対応策として、当社は片山氏から特別利益として485,881千円を受領しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、事業収益600千円（前年同四半期比95.4%減少）、営業損失252,636千円（前年同四半期は営業損失116,164千円）、経常損失245,810千円（前年同四半期は経常損失116,924千円）、親会社株主に帰属する四半期純利益201,800千円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失118,286千円）となりました。

なお、当社グループは、遺伝子治療薬開発事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

当第1四半期連結会計期間末の流動資産の残高は、前連結会計年度末に比べて217,782千円増加し、5,666,329千円となりました。これは主に、現金及び預金が228,117千円増加したためであります。

(固定資産)

当第1四半期連結会計期間末の固定資産の残高は、前連結会計年度末に比べて38,674千円増加し、867,145千円となりました。これは主に、投資その他の資産が49,791千円増加したためであります。

(流動負債)

当第1四半期連結会計期間末の流動負債の残高は、前連結会計年度末に比べて30,117千円増加し、88,384千円となりました。これは主に、未払法人税等が20,673千円増加したためであります。

(固定負債)

当第1四半期連結会計期間末の固定負債の残高は、前連結会計年度末に比べて3,043千円増加し、14,936千円となりました。これは、繰延税金負債が3,043千円増加したためであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べて223,296千円増加し、6,430,153千円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益発生に伴い利益剰余金が201,800千円、資本金及び資本剰余金がそれぞれ6,646千円増加したためであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社の事業はパートナーとの交渉により進捗すること、ライセンスの契約一時金の事業収益によって当社の業績が大きく変動すること、新たなパートナーとの提携の可能性や新規のパイプラインの獲得の可能性等、当社の事業上の特性として現時点では業績に与える未確定な要素が多いことから、今後の見通しについては、適正かつ合理的な数値を算出することが困難であると考えており、業績予想は開示を見合わせることにしました。なお、今後の事業進捗を踏まえて、合理的な開示が可能となりましたら速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,421,476	5,649,593
その他	27,070	16,735
流動資産合計	5,448,546	5,666,329
固定資産		
有形固定資産	49,774	54,345
無形固定資産		
特許実施権	767,445	751,766
その他	374	366
無形固定資産合計	767,819	752,132
投資その他の資産	10,876	60,667
固定資産合計	828,470	867,145
資産合計	6,277,017	6,533,474
負債の部		
流動負債		
未払法人税等	21,619	42,292
その他	36,647	46,092
流動負債合計	58,266	88,384
固定負債		
繰延税金負債	11,893	14,936
固定負債合計	11,893	14,936
負債合計	70,160	103,320
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,707,320	2,713,966
資本剰余金	4,029,055	4,035,701
利益剰余金	△527,519	△325,719
株主資本合計	6,208,855	6,423,947
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△1,998	6,205
その他の包括利益累計額合計	△1,998	6,205
純資産合計	6,206,857	6,430,153
負債純資産合計	6,277,017	6,533,474

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)
事業収益	13,000	600
事業費用		
研究開発費	81,317	184,182
販売費及び一般管理費	47,846	69,053
事業費用合計	129,164	253,236
営業損失(△)	△116,164	△252,636
営業外収益		
受取利息	19	27
補助金収入	79	205
為替差益	—	6,962
その他	—	29
営業外収益合計	98	7,223
営業外費用		
上場関連費用	766	—
為替差損	31	—
株式交付費	—	397
その他	60	—
営業外費用合計	858	397
経常損失(△)	△116,924	△245,810
特別利益		
受取賠償金	—	485,881
特別利益合計	—	485,881
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△116,924	240,071
法人税、住民税及び事業税	240	36,153
法人税等調整額	1,121	2,118
法人税等合計	1,362	38,271
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△118,286	201,800
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△118,286	201,800

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△118,286	201,800
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	199	8,203
その他の包括利益合計	199	8,203
四半期包括利益	△118,087	210,004
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△118,087	210,004

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間において、新株予約権の行使に伴い、資本金が6,646千円、資本剰余金が6,646千円増加しております。これにより、当第1四半期連結会計期間末の資本金は2,713,966千円、資本剰余金は4,035,701千円となっております。

(セグメント情報等)

当社グループは、遺伝子治療薬開発事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。